

平成 27 年度自然観察会実施報告

『鬼ヶ城山系に行く 秋の自然満喫ツアー』

- ◆実施日時：平成 27 年 11 月 21 日（土）10：00～15：30
- ◆場 所：愛媛県宇和島市 鬼ヶ城山系
- ◆講 師：早見 萬之助 氏（宇和島自然科学教室）
- ◆参 加 者：4 名（募集定員 25 名）
- ◆天 候：晴れ
- ◆内 容：鬼ヶ城山系にあるブナの天然林や秋の植物を中心とした自然観察を行うと共に、八面山や大久保山の山頂から、周囲の 1000m 級の山々や、宇和海の島々やリアス海岸など足摺宇和海国立公園の特徴的な景観を臨みました。
- ◆実施風景



まずは、落ち葉を拾い集め、形を見ながら種類分けをしてみました。それぞれの葉っぱの特徴を見ながら植物を見分けるポイント（葉の周縁のギザギザの有無など）を学びました。



八面山の登山口へ移動し、八面山ハイキング！登り始めて 10 分ほどで、早速、権現山とその向こうに広がる宇和海が見えました。





アカマツとクロマツを触って違いを確かめたり、少し不思議な形で子ども達の目を奪ったコケの仲間・ヒカゲノカズラ、「天狗のウチワ」とも呼ばれる大きな葉をもつハリギリなど、出会った植物を観察しながら、山頂を目指しました。



植物だけでなく、シカが木の幹を食べた跡（左）や、タヌキのフン（右）など、動物の痕跡も見つかりました。



八面山の山頂付近は、西側に位置する宇和海から南側の山々まで 180 度以上が見渡せる大パノラマが広がります。9 月はキオンという黄色い花が一面に咲くそうです。ここでお昼のお弁当を食べました。





復路では、八面山の東側に位置する三本杭などを眺め、鬼ヶ城山系の地質や地形についてのお話も聞きました。



海拔 1000m付近より上部に広がる天然のブナ林も観察しました。登山道からすぐ見える位置にも、大きな立派なブナの木が！鬼ヶ城山系のブナ林は、四国の南限にあたります。



大久保山を経由する往路とは別ルートで、無事にハイキング終了。季節外れのシハイスミレもちらほらと咲いていました。